

高岡市立戸出公民館

◆事業の目的

地元を題材にした「かるた」を制作することにより「見て、聞いて、触れて、考え」より深く郷土を知り、関心や愛着を高め、郷土愛を育む。

◆事業の流れ

実施日	活動名	場所	参加人数
7月24日(日)	かるたで巡るふるさと探訪	北般若地区内	48名
8月21日(日)	かるたに誘われふれあいウォーク	戸出地域全域	50名
10月16日(日)	かるたで覗くふるさとの歴史	是戸地区内	42名
10月22日(土)	かるたを訪ねてふるさと再発見	戸出地域全域	54名
12月23日(金)	かるたで遊ぼう	戸出公民館	44名

◆事業の様子

☆ かるたで巡るふるさと探訪

地区の名称や「かるた」に登場する7ヶ所を見学。地域の「字」の由来や意味などを知り、新たな発見や関心が生まれた。また、地元のお年寄りの話を聞くことで、より興味深く聞くことができ、世代交流にもなった。

☆ かるたに誘われふれあいウォーク

公民館にて「かるた」の内容説明の後、実際現地に赴いて学習。現地で大形紙芝居など使って学習する。講師の郷土愛あふれる講義に参加者も熱心に聞き入っていた。また、子供からお年寄りまでの参加で、お年寄りからの懐かしい話などを聞きながらのウォーキングも楽しく、戸出の新たな魅力を知る良い機会となった。



☆ かるたで覗くふるさとの歴史

かるたに詠まれた名所、人物、建物などを題材に映像を使っての歴史探訪後現地で確認する。映像から時代背景を思わせ、現在との比較をしたり、時代の変化に戸惑ったりと、個々それぞれに思うものがあつたようだ。

☆ かるたを訪ねてふるさと再発見

資料を使っての説明後、バス～徒歩で各個所を巡り、現地にて説明を受ける。各所でパスワードを発表した。パスワードが子供たちの関心をひき、とても弾けた声が響き、楽しみながら学習することが出来た。



☆ かるたで遊ぼう

実際に「戸出野かるた」でかるた大会をする。歓声の中に、現地で見ることや聞いた事を話す子や、描かれている絵を説明する子供たちで復習を兼ねた楽しい時間となった。

◆事業の成果と課題

地域の歴史や文化、偉人、風土、伝承など、自分たちの住む土地の魅力を発見できたことで、郷土に対する誇りや愛着が芽生えた。また昔の話を聞いたり、地域を巡ることで、世代交流や地域の連携が深まった。

子供たちを、広範囲に移動させるので、安全面に特に注意しなければならない。